

# 【一般の方向け】 PTEGのよくある質問集

## 減圧目的のPTEGの場合

### 《日常生活について》

- Q1 PTEGをつくったあと、動けますか？
- Q2 PTEGをつくったあと、口から食べられますか？
- Q3 PTEGをつくったあと、入浴はできますか？

### 《カテーテルに関するトラブルについて》

- Q4 カテーテルが抜けてしまった
- Q5 排液が出て来なくなった
- Q6 カテーテルや接続チューブが汚れている

### 《スキンケアに関するトラブルについて》

- Q7 カテーテルの周りに黄色い固まりがついている
- Q8 カテーテルの周りから出血している
- Q9 カテーテルの周りが排液で汚れている

Q1 PTEGをつくったあと、動けますか？

A1 PTEGをつくる前と同じです

歩くことも車椅子も、なんら問題ありません。

Q2 PTEGをつくったあと、口から食べられますか？

A2 はい、ある程度のものが食べられます

カテーテルから出てくる程度の硬さのおかゆや流動食、水分などを自由に摂取してもかまいません。炭酸飲料水についてはつくったあと1週間後くらいから可能です。

Q3 PTEGをつくったあと、入浴はできますか？

A3 入浴は全く問題ありません 自由に入浴して下さい

PTEGがはいっている部分は水（お湯）がかかっても、全く問題はありません。ビニールや絆創膏などではいっている部分をおおう必要もありません。シャワーも普通にできますし、湯船につかっても大丈夫です。石鹸をつけてきれいに洗って下さい。

温泉や公衆浴場などもOKです。

## Q4 カテーテルが抜けてしまった

### A4 あわてないで下さい

### 抜けることで大変なことにはなりません

ただ、抜けてから時間が経つほどあけていた孔（あな）は閉じて行きます。

抜けて間もないならば、もと入っていたカテーテルをそっと入れてみて下さい。5 cmほどすっと入れればさらに進めて、もとの位置まで進めて下さい。

抜けてからの時間がわからない場合や、もとのカテーテルが入らない場合は退院の際にもらっているチューブ（レスキューチューブ）を入れてみて下さい。これがすんなり入れれば一安心です。その後PTEGをつくってもらった病院を受診して下さい。このチューブも入らない場合はできるだけ早めにPTEGをつくってもらった病院を受診して下さい。

いずれの場合も、注入を始めるかどうかについては、かかりつけの先生やPTEGをつくってもらった病院での確認が必要です。

## Q5 排液が出て来なくなりました

A5 まず、カテーテルが抜けて来ていないか確かめて下さい。抜けて来ていなければ、注射器で吸引して下さい。

濃い腸液や食べたものでカテーテルが詰まって、自然排液では出て来なくなることがあります。まず、注射器で吸引してみても出てくればそれで解決です。

それでも出て来ない場合は10mlくらいのお水を注入してから、吸引してカテーテルを洗浄して下さい。出てくればそれで解決です。一日4～5回、定期的に吸引や洗浄が必要な場合もあります。

カテーテルが抜けて来ている場合や、洗浄用のお水の注入もできないようならばカテーテルの交換が必要ですので、かかりつけの先生やPTEGをつくっていただいた病院にご相談下さい。

Q6 カテーテルや接続チューブが汚れている

A6 減圧用のカテーテルは汚れてしまったら  
交換するしかありません

減圧用のカテーテルは、通常2週間～1か月ごとの交換が必要です。

## Q7 カテーテルの周りに黄色い固まりがついている

### A7 カテーテル周囲にできた肉芽（にくげ）によることが多いです

肉芽（不良肉芽）とはカテーテル周囲の孔の周りにできる柔らかい盛り上がりを言います。孔の周りが汚れていたり、湿っていたりするとできやすく、かさぶたや出血を伴うこともあります。肉芽に対しては、ティッシュペーパーをこより状にしたものをカテーテル周囲に巻いて乾燥させることが一般的です。それでもよくなる場合は、少量のステロイド軟膏を塗布する、硝酸銀で焼灼するなどの治療が必要です。

まわりと比べて腫れている、熱をもっている、固くなっているなどの様子に伴う場合には抗生物質投与が必要な場合もありますので、かかりつけの先生やPTEGをつくってもらった病院にご相談下さい。

## Q8 カテーテルの周りから出血している

A8 着衣やガーゼに血液が付着するくらいの  
少しの量なら心配ありません

カテーテル周囲にできた肉芽（にくげ）に伴うものが考えられます。Q7をご参照下さい。

多量の出血の場合は、早急に病院を受診して下さい。

## Q9 カテーテルの周りが排液で汚れている

### A9 排液が十分に行われていない可能性があります

自然排液だけではなく、一日4～5回定期的に吸引や洗浄をするほうがよいことがあります。Q5を参考にして下さい。

汚れた皮膚は、石鹼などを用いてきれいに洗いましょう。